



- 日付：2025年2月22日（土）14:00-16:00（受付 13:45～）
- 会場：FabCafe Nagoya
- 参加人数：10名
- 参加費：1500円+1ドリンク
- 共催：FabCafe Nagoya
- 予約：FabCafe（Peatix 使用）

Bookbinding Workshop

クリエイター向け手製本講座

絵や文をかき、写真を撮り、印刷し、糸で綴じる。
そんな工程の一つ一つを経て、本がつくられます。

その中でも、製本技法は本の完成度を左右する重要な工程です。
平安時代から続く、日本の伝統的な製本技法である和綴じは、経典の装丁として始まりました。その後、江戸時代に入ると、文化の発展とともに和綴じの技法も進化を遂げ、様々な書物の装丁に用いられるようになり、その美しさと丈夫さで、知の継承を支えてきました。

一方、現代では、若者に根強い人気を誇る ZINE があります。

ZINE は、60年代に既存メディアに縛られない文化として生まれました。DIY スピリットと自由な表現を軸に、コピー機とホチキスから始まった遊びのような実験メディアは、カウンターカルチャーとして進化を遂げていきました。



そんな ZINE にも、手製本の技法は多数取り入れられています。それは、特殊な紙を使った表紙、通常の本では入れられない素材の綴じ込みなど、手作業ゆえに一冊一冊に個性を与えることができる＝完全な複製がないという特徴が、ZINE やアーティストブックの文脈において非常にリンクするからでしょう。デジタル全盛の現代においても、手製本による独自の表現方法は多くのクリエイターを魅了し、静かなブームが続いています。

本ワークショップでは、日本の伝統的製本技術である和綴じの内 2 種を、それぞれの特徴を解説しながら、実際に自身の手で綴じてもらいます。

技術が発達した現代だからこそ、あなたの"記録"を、唯一無二の形で残してみませんか。

また、猫の日特別企画として、猫の毛糸をご用意。少し難易度が高いですが、製本も可能です。希望者はチャレンジしてみてください。

｜綴じ方について

本ワークショップでは、和綴じの中から、初心者の方でも取り組みやすい「三つ目綴じ」と、より本格的な「康熙（こうき）綴じ」の 2 種類を実践いただきます。



■三つ目綴じ

シンプルながらも繊細な菱形が際立ち、装飾でありながら構造的な強度も持つ綴じ方です。

■康熙綴じ

四つ目綴じの角部分に糸を縦横に掛けた綴じ方です。清の皇帝・康熙帝に起源があるとされ、”高貴”綴じとも呼ばれています。

※写真は別の綴じ方のイメージです、追って差し替えさせていただきます。

| 連絡事項

- 製本が初めての方でも問題ないよう、必要な道具や材料（紙、糸など）は、すべて運営側でご用意いたします。手ぶらでお越しください。
- 針を使用しますので、中学生以上の方のみご参加可能です。
- お持ち帰りいただけるのは、ご自身で綴じた2冊の手製本（A5）です。綴じ方は2種とも体験いただけます。
- 今回は、製本の講座となります。アーティストブック・ZINE制作については、ワークショップ後に思う存分チャレンジしてみてください。
- ワークショップ終了後、散歩をしながらストリートスナップを行う予定です。参加は任意となりますが、もしよければご一緒しましょう。

■特別企画：猫の毛糸で綴じる



猫の日にちなんで、本物の猫の毛から紡いだ糸もご用意しました。
扱いが難しい素材ですが、ふわふわの猫の毛で特別な一冊を作りたい方は、ぜひチャレンジしてみてください。

Special Thanks to しゃとう、こな、もずく、ぼこ (猫のみなさん)

■こんな人におすすめ

- ・写真、絵、文章などの作品制作を行っており、ポートフォリオや記録媒体を自作したいと考えている方
- ・今までホチキスを使ったり、印刷会社へ依頼したりして ZINE を作ってきたが、手製本に興味があり、これを機に和綴じに挑戦してみたい方
- ・本や製本自体に興味関心がある方
- ・クリエイターに自社の製品や素材を使ってもらい、広報や PR、商品開発などのリサーチがしたい企業の方

| 企画者



安齋 萌実 / Moemi Anzai

名古屋学芸大学大学院 メディア造形研究科修了

名古屋学芸大学映像メディア学科 助手

名古屋市を拠点に、土地や場所を対象とした写真作品/冊子作品の制作・発表を行う。そのほか、作品制作と並行して、アートを介したワークショップの企画・運営などの活動も行なっている。

近年の主な作品：『都市公園』（“大名古屋電脳博覧会” / 愛知, 2023）、『眠る家 - 飛驒市古川町』（“BOOK BOOK-金城市場で本の市-” / 愛知, 2024）など。

<https://moemianzai.com/>



居石 有未／Yumi Sueishi

名古屋造形大学大学院 修了。

展示やワークショップ運営、調査、広報などの多岐にわたる企画経験を活かし、創造力や表現力を活かせる環境づくりを、コミュニティを固定せず実践。制作では、生き物との共同制作に挑戦し、近年は主に顕微鏡を使用した作品を展開している。好きな食べ物はいちご。

近年の主な活動：個展「じつづき」2024 年 ビッカフェ、「Rishao”mo:yu”Releas LIVE」2024 年 stiffslack 映像演出など。



細井 章世／Akiyo Hosoi

1994 年愛知県生まれ。日常的に撮り溜めた記録写真を素材として作品制作をしています。

個展歴：

「るびをふる」 / 2023.4.26-5.21 / まなみ古書店(名古屋市中北区)

「静止画」 / 2021.12.7-26 / cafe DODO(名古屋市中区)

40one's fest / 2020.1.31-2.2 / gallery 40(名古屋市中区)

<https://www.instagram.com/akiyohosoi/>

=====タイムテーブル=====

13:45 受付開始

14:00 開始、注意事項説明

14:05 ZINE・アートブックについて

14:15 綴じ方について事前解説

14:30 実践タイム～手製本体験～

15:45 完成&記念撮影

15:55 クロージング

16:00 ワークショップ終了

※終了後、任意参加の街歩きスナップ会実施

=====画像アルバム=====

<https://photos.app.goo.gl/1ULvdTeJUgvKVF1D7>